

近代化への先がけを体感

時代を駆け抜けた男たち

吉田松陰と門下生たち



MAP A 吉田松陰・金子重輔銅像

吉田松陰略伝 天保元年(1830)杉家の次男に生まれ、5歳で叔父の吉田家を継ぎました。幼いころから山鹿流の兵法を学び、19歳で兵学教授、藩校明倫館で講義を行う秀才でした。学識を深めた松陰は、安政元年(1854)アメリカのペリーが日米和親条約の締結を目的に再度来航した時、軍艦に乗りこみ、海外への渡航を企てるが失敗。幕府にとらわれ、萩の野山獄に送られた後、叔父の開いていた松下村塾を受け継ぎ、わずかの間に90余名もの塾生達を教育し、高杉晋作、伊藤博文、山県有朋、久坂玄瑞など、やがて明治維新の原動力となる人物を育てあげました。

安政5年(1858)安政の大獄により、新しい時代を見ることなく安政6年(1859)に処刑され、30歳の生涯を終えました。しかしその志は門人たちの心の中に生き、明治の新しい時代をつくる礎となりました。

近代日本を築いた 長州ファイブ 密航留学生



遠藤謹助 伊藤博文 井上馨 井上勝 山尾庸三 萩博物館

日本が欧米列強の植民地化の危機にあった幕末期、国禁を破って命がけで英国へ渡った長州出身の5人の若者たち—伊藤博文・井上馨・井上勝・山尾庸三・遠藤謹助—。彼らは、若さで情熱によって西洋文明を自らの血肉と化し、帰国後はわが国の新しい時代を切り拓く先駆けとなりました。

吉田松陰門下生

吉田松陰の志とともに国を動かし、日本を近代化へと導いた代表的な門下生を紹介します。

高杉晋作

高杉家の長男として萩屋横町に生まれました。松下村塾に学びその才能を開花、久坂玄瑞とともに松下村塾の双壁とうたわれました。文久3年(1863)奇兵隊を結成するなど維新の中心的な役割を果たしますが、維新を目前にして27歳で病死しました。

MAP B 高杉晋作立姿像

伊藤博文

百姓・林十蔵の一子として熊毛郡東条村(現山口県光市)に生まれました。両親とともに萩に移り、松下村塾に学んで尊皇攘夷運動に参加。維新後は新政府の要人として活躍しました。内閣制度創設とともに初代総理大臣となりました。

MAP D 伊藤博文陶像

久坂玄瑞

藩医の息子として萩に生まれました。松下村塾に学んだ彼は松陰に「防長第一流の人物」と評され、妹の文と結婚しました。松陰亡き後は全国の志士の総司令官的な存在になりましたが、「禁門の変」に敗れて自刃、25歳の生涯を終えました。

MAP C 久坂玄瑞進撃像

山県有朋

中間、山県有稔の長男として萩下川島に生まれました。松下村塾に学び、奇兵隊軍監として活躍。明治新政府では、日本陸軍の第一人者として軍制の確立、明治22年(1889)、内閣総理大臣になりました。

MAP E 山県有朋銅像

木戸孝允

江戸屋横町に生まれました。吉田松陰の門下であり、人間の洞察力は常に的確であったといわれています。危険を事前に察知し、生涯剣と刃を交えることがありませんでした。西郷隆盛・大久保利通とともに、維新の三傑の一人です。

MAP F 山田頭義銅像

山田頭義

藩士山田七兵衛の子として、中ノ倉に生まれました。松下村塾で学んだ後、戊辰戦争などでも活躍。明治維新後は政府の要職を歴任するとともに、日本大学、國學院大学の前身校の創設に携わり、教育にも力を注ぎました。

MAP F 山田頭義銅像

必見! スポット 日本を動かす原動力となった維新の志士と産業遺産を巡る!

必見1 萩城城下町エリア 基盤目状に画された町筋に、武家屋敷や町家が軒を連ねていた城下町。高杉晋作、桂小五郎(木戸孝允)、伊藤博文など、幕末に活躍した英傑ゆかりの地が狭い範囲に集中しています。

萩城城下町 萩城城下町は国の史跡に指定されており、町筋は基盤目状に画され、武家屋敷や町家が軒を連ねていました。今も町筋がそのまま残り、よく往時の面影をとどめています。菊屋家、また高杉晋作誕生地、木戸孝允旧宅やまこ壁の土塀、門などが並んでいます。 **萩市呉服町** ◆まあーるバス西回り「萩博物館」下車徒歩5分

萩屋家住宅 萩藩の御用達を勤めた菊屋家の主屋は、江戸時代前期に建てられ、幕府巡見使の宿として本陣にあてられていました。主屋、本蔵、金蔵、米蔵、釜場の5棟が国の重要文化財に指定されています。 **萩市呉服町1-1** **萩** 8時30分~17時30分(入館は17時15分まで) **萩** 12/31(1/1は10時より開館) **萩** 0838-25-8282 **萩** 一般600(500)円/中学生・高校生300(250)円/小学生200(170)円 ◆まあーるバス西回り「萩博物館」下車徒歩5分

木戸孝允旧宅 萩藩医・和田昌景の長男として生まれ、桂家の養子となったことから桂小五郎の名前でも知られています。この旧宅は、孝允誕生の部屋や庭園などよく旧態を残し、当時の藩医の生活様式を伺うことができます。 **萩市呉服町** **萩** 9時~17時 **萩** 無休 **萩** 0838-25-3139(萩市観光課) **萩** 100円 ◆まあーるバス西回り「萩博物館」下車徒歩5分

高杉晋作誕生地 萩藩大組士高杉小忠太の長男として天保10年(1839)に生まれ、安政4年(1857)松下村塾に通い始めました。邸内には晋作の写真や書などが展示され、自作の句碑や産湯に使ったとされる井戸があります。 **萩市南古萩** **萩** 9時~17時 **萩** 不定休 **萩** 0838-22-3078 **萩** 大人100(90)円 中学生50(45)円 小学生無料 ◆まあーるバス西回り「萩博物館」下車徒歩5分 ※()内は30名以上の団体料金

必見2 萩城跡エリア かつて天守閣のあった萩城跡周辺は、毛利藩の重臣たちの邸宅が立ち並んでいた地域。今も土塀や石垣が続き、当時の面影をよくとどめており、全国で最初の重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。

萩城跡(指月公園) 関ヶ原の戦いに敗れた毛利輝元が、慶長9年(1604)防長2州36万石の居城として築いたものです。天守閣などは明治7年解体され、堀と城壁の一部、石垣などが残っています。志都峯山神社、花江茶亭、東園などの遺跡があり、春は桜の名所となっています。 **萩市内1-1** **萩** 4~10月/8時~18時30分 11~2月/8時30分~16時30分 3月/8時30分~18時 **萩** 無休 **萩** 0838-25-1826 **萩** 大人210(120)円 小・中学生100(60)円 ※()内は30名以上の団体料金 ◆まあーるバス西回り「萩城跡・指月公園」下車徒歩5分

北の総門 柱間約6m、高さ7mの日本最大級の高麗門。平成16年に、「萩開府400年」を記念して復元されました。総門脇の土塀や船着場などが整備され、外堀に架かるものとしては全国唯一となる土塀付き土橋です。 **萩市内** ◆まあーるバス西回り「萩博物館」下車徒歩5分

萩博物館 平成16年(2004)に開館し、「萩」というテーマに即して、自然・歴史・民俗等に関する資料を保管・展示しています。また、書簡や甲、道中三味線など高杉晋作の関係資料も数多く展示され晋作の太く短い生涯を紹介しています。 **萩市内355** **萩** 9時~17時(入館は16時30分まで) **萩** 無休 **萩** 0838-25-6447 **萩** 大人510(410)円 高校・大学生310(240)円 小・中学生100(80)円 ◆まあーるバス西回り「萩博物館」下車徒歩1分 ※()内は20名以上の団体料金

もっこり萩を知ろう! 藍場川沿いにある情緒あふれる武家屋敷 **旧湯川家屋敷** **藍場川エリア** **萩市川島67** **萩** 9時~17時 **萩** 無休 **萩** 0838-25-3139(萩市観光課) **萩** 100円 ◆まあーるバス西回り「藍場川入口」下車徒歩10分 日本海に面した眺望が抜群! **笠山** **笠山・越ヶ浜エリア** **萩市椿東越ヶ浜** **萩** 0838-25-3139(萩市観光課) ※旧松本村エリアから車で12分

必見3 旧松本村エリア 吉田松陰の志のもと、多くの幕末志士が学び、時代を動かした明治維新胎動の地。世界遺産の松下村塾をはじめ、誕生から終焉(墓所)まで松陰ゆかりのスポットが多く点在しています。

松下村塾 幕末期に吉田松陰が主宰した私塾。塾では身分の区別なく学ぶことができ、高杉晋作・久坂玄瑞ら幕末維新期に活躍し、近代日本の原動力となった数多くの逸材が輩出されました。 **萩市椿東1537** **萩** 8時~17時 外観のみ常時見学可 **萩** 0838-22-4643 ◆まあーるバス東回り「松陰神社前」下車徒歩1分

松陰神社 明治23年(1890)に吉田松陰を祀って建てられた神社で、境内には松下村塾、吉田松陰歴史館、松陰神社宝物殿・至誠館などが点在しています。松陰神社宝物殿・至誠館では吉田松陰が遺された著述、物品を展示しています。 **萩市椿東1537** **萩** 至誠館 9時~17時(境内自由) **萩** 0838-22-4643 **萩** 歴史館・至誠館 大人・大学生500(400)円 中学・高校生250(200)円 小学生100(80)円 ◆まあーるバス東回り「松陰神社前」下車徒歩1分 ※()内は20名以上の団体料金

伊藤博文別邸 別邸は、伊藤博文公が明治40年(1907)に東京府下荏原郡大井村に建てたものです。往時の面影がよく残す玄関、大広間、離れ座敷の3棟を萩に移築しました。大広間の鏡天井や離れ座敷の節天井など意匠に優れています。 **萩市椿東1511-1** **萩** 9時~17時 **萩** 無休 **萩** 0838-25-3139(萩市観光課) **萩** 100円 ◆まあーるバス東回り「松陰神社前」下車徒歩5分

東光寺 全国屈指の黄檗宗の寺院で、総門、三門、鐘楼、大雄宝殿はいずれも国の重要文化財に指定されています。墓所には、毛利3代から11代までの奇数代の藩主と夫人などの墓があり、周囲にはおよそ500基の石灯籠が並んでいます。 **萩市椿東1647** **萩** 8時30分~17時 **萩** 無休 **萩** 0838-26-1052 **萩** 大人300(250)円 高校・大学生300(250)円 小・中学生150(120)円 ◆まあーるバス東回り「東光寺前」下車徒歩1分 ※()内は30名以上の団体料金

必見! 世界遺産 明治日本の産業革命遺産 萩の産業遺産群

日本の工業化は、萩藩など九州・山口の雄藩が幕末に自力の近代化を目指したモノづくりへの想いから始まった 明治日本の産業革命遺産九州・山口と関連地域は、8県11市にわたる23の資産で構成されています。うち萩の遺産群は産業技術導入の初期のもので、「萩反射炉」「恵美須ヶ鼻造船所跡」「大板山たたら製鉄遺跡」「萩城下町」「松下村塾」の5つの資産で構成されています。

萩反射炉 西洋式の鉄製大砲鑄造を目指した萩藩が、1856年に建設した反射炉の遺跡。試作的に建設された、と考えられています。 **萩市椿東4897-7** ◆まあーるバス東回り「萩一まーと」下車徒歩10分

恵美須ヶ鼻造船所跡 幕府の要請や木戸孝允の意見により、萩藩が設けた造船所の遺跡。伝統的な和船の建造技術を使って2隻の西洋式軍艦を建造しました。 **萩市椿東5168** ◆まあーるバス東回り「萩一まーと」下車徒歩15分

大板山たたら製鉄遺跡 伝統的な製鉄方法であるたたら遺跡。恵美須ヶ鼻造船所で西洋式軍艦を建造する際に、船釘などの原料鉄を供給しました。 **萩市大学薬福257-5(山地番)** ◆萩市街地より車で約40分

萩城下町 幕末に産業化を目指した萩藩の、当時の地域社会を今に伝えています。城跡、旧上級武家地、旧町人地の3つの区域があります。 **萩市内、呉服町ほか** ◆まあーるバス西回り「萩博物館」下車

松下村塾 吉田松陰が主宰した私塾で、明治維新・近代日本の礎を築いた人材を育成した場所です。1856年、実家の杉家(吉田松陰幽囚/旧宅)で講義を始め、翌年、塾舎(松下村塾)に移りました。 **萩市椿東1537** ◆まあーるバス東回り「松陰神社前」下車徒歩1分



番外編 コラム 萩には他の地域にない特色がたくさんあります。池なのに海の魚が棲んでいたたり、萩沖の島々が平らだったり…。そんな萩の七不思議を探してみよう!

萩のオモシロ不思議発見!

怪奇現象か地盤沈下か!? 異様に低いアレと色の謎… 萩市に入ると、妙な懐かしさを感じると同時に違和感も…。もしかして前世は長州人だった?! と、スピリチュアルな世界もアリですが、そんな違和感ではありません。もう一度周りを見てみましょう。「こんがり日焼け色の自動販売機!」「セブイレブの看板が何故こんなに低い!?」なプリンプレンの看板が何故こんなに低いのです! 実となど、多くの観光客が驚愕しているのです! 実地はコレ。萩市の景観保存条例によるもの。条例地では景観を損なう建物の高さや奇抜な色が規制されているため、赤ロゴが黒茶色のモトーン仕様だっただけです。妙な懐かしさは「色」が原色だったりのです。妙な懐かしさが市外に出てオリジナル色に驚くこと…。そんな光景をあなたはいつ発見できるかな?

幸せの黄色いガードレール 萩に限らず、山口県でよく見る黄色のガードレール。これは1963年の山口国体の際、おもてなしとして全県道が特産の夏みかん色に塗られたため、萩では景観上から黒茶色も増えています。

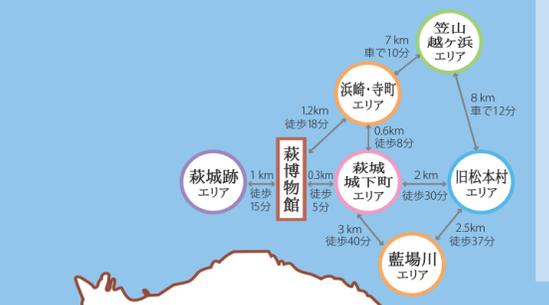
たい焼ではなく 蒸気船焼? 萩には船を模った蒸気まんじゅうがあります。これは幕末の萩沖で蒸気船(黒船)を見た人々が「蒸気船を焼いて食べてしまえ!」と小麦粉生地に船を入れて焼いたのが始まりといわれています。

お問い合わせ先 山口県萩市修学旅行等誘致促進協議会 〒758-0061 山口県萩市椿3537-3 (公社)萩市観光協会内 TEL 0838-25-1750 H28年7月作成

修学旅行ガイドマップ **必見! 萩**
 維新ゆかりの地を巡ろう!

歴史と文化の散策 3時間モデル

- 旧松本村コース** 政治家や起業家も多く訪れる松陰ゆかりの地
 松陰神社……伊藤博文旧宅・別邸……玉木文之進旧宅……吉田松陰誕生地……東光寺……松陰神社
 徒歩5分 徒歩8分 徒歩7分 徒歩6分 徒歩14分 徒歩14分
- 萩城城下町コース** 往時の面影を色濃く残し古地図で歩ける町
 萩城跡……旧厚狭毛利家萩屋敷長屋……萩博物館……旧久保田家住宅
 徒歩1分 徒歩1分 徒歩14分 徒歩5分
 自転車1分 自転車1分 自転車2分 自転車8分
 徒歩2分 徒歩1分 徒歩5分 徒歩17分
- 浜崎・藍場川コース** 水辺の生活が垣間見える癒しのエリア
 東萩駅……浜崎のまちなみ散策
 自転車6分
 ……野山獄跡・岩倉獄跡……桂太郎旧宅
 自転車4分 自転車15分
 ……旧湯川家屋敷……東萩駅
 自転車1分 自転車15分



必見! 笠山エリア

萩めぐりアイテム

アイテム① 市内循環まあるバス

萩市役所前発着の西回り(晋作くん)と東回り(松陰先生)の2ルートがあります。一方通行ルートなので、利用の際は方向確認を忘れず!!

＜運行時刻＞
 始発7時/終発18時
 (萩市役所が起点終点の停留所)
 西回り・東回りともに30分間隔で運行しています。

＜料金＞ 1回 100円
 1日乗車券 500円
 2日乗車券 700円

運行のお問い合わせ 防長交通(萩営業所) ☎0838・22・3811

アイテム② レンタサイクル

萩には見どころがいっぱい! レンタサイクルで回るといろんな景色が見えてきます。

お申込 萩焼窯元 千春楽 城山
 ☎0838・25・1666 萩市内37-1(萩城跡・石彫公園前) 8時~17時
 団体20名以上 修学旅行生/1時間150円(税別) 大人/200円(税別)
 一般料金 基本料金300円(税別) 毎時200円(税別) 【最大400台】

アイテム③ 萩城下町絵図 ~古地図で歩く萩のまち~

毛利藩政期 260年間に形成された城下町の佇まいが現在まで姿をとどめており、今も「江戸時代の地図がそのまま使えるまち」となっています。

＜購入場所＞萩博物館又は萩市観光課
 <料金>200円

お問い合わせ 萩市観光課 ☎0838・25・3139

萩市文化財施設の見学について

学校教育の一環で行われる行事(修学旅行、総合学習等)は、萩市文化財保護課に減免申請書を提出していただければ減免対象となります。(要事前申請)

対象施設 ①青木周弼旧宅 ②木戸孝允旧宅 ③旧久保田家住宅 ④口羽家住宅 ⑤旧厚狭毛利家萩屋敷長屋 ⑥旧田中別邸 ⑦伊藤博文別邸 ⑧桂太郎旧宅 ⑨旧湯川家屋敷の9施設です。
 <施設開館時間> 9時~17時 ⑤は萩城跡指月公園に準ずる
 <休館日> ④はお盆と年末年始 ①②③⑥⑦⑧⑨は無休

お問い合わせ 萩市文化財保護課 ☎0838・25・3299

歴史・文化モデルコース

- 半日A 萩焼体験と工房見学【体験①】… 遊覧船体験【体験③】
 - 半日B 班別体験【体験①・体験②】… 萩博物館で萩を学ぶ
 - 半日C 萩城下町体験【体験④・萩市文化財施設見学】
 - 1日A 午前/班別行動【体験①・体験②】… 萩博物館で萩を学ぶ
 午後/萩城下町体験【体験④・萩市文化財施設見学】
 - 1日B 午前/萩焼体験と工房見学【体験①】… 遊覧船体験【体験③】
 午後/班別萩市探訪【萩めぐりアイテム②】
- 体験 ①萩焼体験(萩焼窯元 千春楽 城山) 電話 0838-25-1666
 ②萩ガラス体験教室(萩ガラス工房) 電話 0838-26-2555
 ③遊覧船体験(萩八景遊覧船) 電話 0838-21-7708
 ④観光ガイド(要事前予約)
 (公社)萩市観光協会 電話 0838-25-1750
 NPO萩観光ガイド協会 電話 0838-25-3527
 浜崎しつる会(浜崎エリア対象) 電話 0838-22-0133